

大阪・船場、
くすりの町の落語会

道修町 たなみん寄席

落語



林家染二
「妾馬」



桂歌之助
「佐々木裁き」



桂二乗
「茶瓶ねずり」

講演



高島幸次
(大阪大学招聘教授・
大阪天満宮文化研究所)
「落語の定説は
教科書の仮説に勝る」

第5回「落語は教科書より真なり」

教科書の歴史が間違っていて、実は落語の方が正しかった!?
「落語はええ加減なもの」と、決めつけない方がいいようです。

「真実は教科書よりも
落語に宿る?」



6/15 (土)

2:00PM~

入場料 1,000円 (資料代込み)

定員 200名 (要申込・先着順)



田辺三菱製薬



大阪・船場、くすりの町の落語会

どししょうまち

道修町たなみん寄席

「たなみん」って？

ふわふわで真っ白な毛に覆われた、大きな青い手を持つ妖精。その手でどんな相手でもぎゅっと受け止め、包み込む。

ハグされたものはその心地よさにひとたび眠りにつき、起きたときには病が治っている、こともあるとか。田辺三菱製菓のキャラクターとして活躍中！

「落語＝ええ加減なもの」
は、大間違い!
落語が語る歴史の真実は、
意外に多いようです。

江戸時代後期から明治時代に生まれた古典落語には、当時のリアルタイムの社会制度や風俗が織り込まれています。ですから、現代の知識や教養によって「ちょっと変」と感じるプロットやファクターが語られても、「やっぱり落語はええ加減や」と決めつけられない方がいいようです。私たちが習ってきた歴史的事実なるものが間違っていて、落語の方が実は正しいことも多いのです。「真実は教科書よりも落語に宿る」という事例を知れば、落語を聴くのがもっと楽しくなるはずですよ。

◎資料(背景写真)について



『浪花百景』より
歌川国員「玉江橋景」
(大阪府立中之島図書館蔵)

『浪花百景』は幕末の大坂で流行った錦絵集で、当時の大坂の名所・名物を3人の絵師が分担して描きました。このうち、歌川(一珠斎)国員による「玉江橋景」は、堂島川に架かる玉江橋を北から南に遠望。橋の両脇に町人たちがしゃがんで通過を待つ、武士の隊列は果たして何者? また画面奥に見える五重塔はどここの塔? 落語も絵画も見くびってはなりません。

第5回「落語は教科書より真なり」

林家染二「妾馬」 桂歌之助「佐々木裁き」ほか 高島幸次(講演)「落語の定説は教科書の仮説に勝る」

日時 2019年6月15日(土) 2:00PM~4:00PM頃(受付開始1:15PM~)

会場 田辺三菱製菓株式会社

入場料 1,000円(資料代込み) 定員 200名(要申込・先着順) ※定員に達し次第締め切ります。

ハガキ、FAX、もしくはインターネットの申し込みフォームからお申し込みください。

ハガキ、FAXでお申し込みの方は、お名前・ご住所・電話番号・参加人数(応募1通につき4名まで)を明記の上、下記までお送りください。

なお、複数名でご参加希望の場合は、代表者の方の必要事項を明記してください。

〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号 「道修町たなみん寄席」受付係 FAX.06-6484-9678

<https://www.tanamin-yose.net>

道修町の歴史がよくわかる
田辺三菱製菓史料館を
見学していただけます。



◎ご参加までの流れ

①お申し込み

4月25日(木)10:00AMより
インターネット、ハガキ、
FAXで受け付けています。

②受講票発送

5月20日前後から
発送を開始します。

③当日お支払い

当日、会場でお支払い
をお支払いください。

お申し込み先着順に整理番号を発行し、当日はその番号順にご入場いただけます。
整理番号は受講票に記載していますので、必ずご持参ください。

※受付開始時間より前にお越しいただいても、早く入場できるわけではありません。

お問い合わせ ☎06-6484-9677

(道修町たなみん寄席事務局・株式会社140B内)

主催/田辺三菱製菓株式会社 企画・運営/株式会社140B

